

# 日立労基協だより

—第20号—

発行所  
日上市幸町 1 丁目 21 番 2 号  
日立商工会議所会館 1 階  
社団法人 日立労働基準協会

電話 (0294) 23 - 3431  
E - mail:roukikyo@jsdi.or.jp  
編集兼発行人 大内 傳之助

新年あけまして  
おめでとうござい  
ます

年頭のご挨拶



(社)日立労働基準協会

会長 柴田 文弘

あけましておめでとうござい  
ます。会員事業場の皆様方には、日頃から日  
立労働基準協会の運営に格別なるご理  
解とご協力を賜り厚く御礼申し上げま  
す。

昨年は、景気回復の見通しが立たな  
い中、当協会の活動の中心でありま  
す技能講習と特別教育の受講者数につ  
いて、規模を縮小した予算を組まざる  
を得ない大変厳しい状況でありまし  
た。このような中、一年間活動を展開  
して参りましたが、幸いにも受講者数  
は当初計画を上回るペースで推移して  
おり、年度末において予算を達成でき  
る見通しにあります。当協会と致しま  
しては、事業計画が順調に進み充実し  
た一年を送ることができました。改め  
て会員事業場の皆様に御礼申し上げま  
す。

さて、茨城労働局より労働災害を防  
止するための施策として、平成二十一  
年度を初年度とするリスクアセスメン  
ト普及三か年計画が示されておりま  
す。経済環境は、依然として厳しい状  
況が続いておりますが、このような時  
期であるからこそ、リスクアセスメン  
トを活用し、優先順位を明確にして対  
策を進めて行くことが重要でありま  
す。併せて、従来から実施しておりま  
す安全巡視、危険予知、指差呼称、ヒ  
ヤリハット活動などが形式的な活動

になつていないか検証し、実のある活  
動を展開していくことが必要でありま  
す。新年にあたって新たな気持ちで安  
全活動の再確認を行い、多くの事業場  
で無災害を達成して頂きたいと思いま  
す。

また、衛生面につきましては、脳又  
は心臓疾患及び精神疾患による労災認  
定件数がここ十年で急増しておりま  
すので、長時間労働対策や健康増進運  
動等の施策を産業医と連携を密にしな  
がら積極的に進めて行く必要があります。  
更には、昨年から猛威を振るって  
おります新型コロナウイルスへの対応  
も喫緊の課題として継続的に取り組ん  
でいかなければなりません。

安全衛生を取り巻く環境も多くの課  
題がありますが、関係官庁のご協力を  
賜りながら、当協会と致しましては、  
昨年以上の活動を行うよう努力をして  
参りますので、今後ともご理解とご  
協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員事業場の  
皆様にとつて飛躍の年となることをご  
祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせ  
ていただきます。

謹賀新年

(社)日立労働基準協会

役員一同